

自転車用ヘルメット高校生川柳コンクールの入賞作品が決定しました

自転車用ヘルメット着用普及活動の一環として、着用率の低い高校生年代を対象に自転車用ヘルメットに関する内容の川柳を募集したところ、144点の応募がありました。

自転車での交通事故の被害を軽減するためには、頭部を守ることが大切です。交通事故から自分や家族を守るため、ヘルメットの着用について考えてみませんか。

【問】☎交通防犯課Tel.92-3111



入賞作品

【最優秀賞】

ヘルメット 守るは未来と みんなの笑顔

関口漣さん(古河第一高等学校2年生)



▲関口さんには塩野自転車(株)から自転車が贈呈されました

【優秀賞】

○さあ行こう 僕らの相棒 ヘルメット

おまめさん(宇都宮文星女子高等学校3年生)

○かぶってみたら 事故のリスク 減るメット!!

小林穂花さん(古河第二高等学校3年生)

【特別賞】

○かぶること 多くのえがおを まもること

荒木健太郎さん(古河中等教育学校5年次)

○アオハルと 自転車乗る ヘルメット

シオンさん

○ヘルメット 自分の命 大切に

藤原心美さん(三和高等学校1年生)

(東海大学付属高輪台高等学校1年生)

○朝寝坊 寝癖も直せる ヘルメット

○ヘルメット みんなで被って チーム友達♪

小林桃花さん(境高等学校1年生)

チャンチャンさん

(クラーク記念国際高等学校1年生)

自転車用ヘルメット購入費の一部を助成します

対象 市内在住の平成18年4月2日以降生まれ、または65歳以上で、安全基準に適合した新品の自転車用ヘルメットを4月1日以降に購入した人

助成額 1個につき購入費用(税込み)の2分の1まで(上限2,000円、100円未満は切り捨て)

申込 購入した年度の3月31日までに申請書と必要書類を☎交通防犯課、☎市民総合窓口室へ提出☎

帽子型など、おしゃれなデザインのヘルメットも増えています



休日の中学校部活動は「地域クラブ活動」に移行します

中学校の生徒数が減少し、放課後や休日(土・日曜日、祝日)に行う部活動の存続が困難になっています。中学生の「やってみたい」に応え続けられるように、今後、中学生のスポーツ・文化芸術活動は学校の枠を超えて「地域クラブ活動」として地域に移行していきます。

【問】☎教育総務課Tel.22-5111



地域クラブ活動って何ですか？

中学生の受け入れを行っているスポーツ・文化芸術団体の活動を「地域クラブ活動」と言います。市ではまず、休日の部活動を地域の実情に応じて段階的に地域クラブ活動へ移行します。

中学校の部活動と地域クラブ活動の違い



	中学校の部活動	地域クラブ活動
実施主体	各中学校	地域の組織・団体
種目	学校が選択したもの	多様
活動場所	各中学校	公共・民間・学校施設など
参加者	中学生	さまざまな世代の人
指導者	教職員など	地域の指導者



地域クラブ活動に期待できること

- 学校の垣根を超えた仲間との出会い
- 有資格者や専門性のある指導者からの指導
- 多様な体験、さまざまな世代の人と交流 など



「地域の子どもたちは、地域で育てる」という国の方針に沿い、地域の特色や良さを生かして中学生の選択肢を増やします。



Aさん

違う学校の子や地域の人と一緒にスポーツを楽しみたい
→地域クラブ活動に入る



Bさん

平日はバスケット部、休日は部活動にない音楽を楽しみたい
→地域クラブ活動(音楽)に入る



Cさん

平日はテニス部で休日は自由に過ごしたい
→地域クラブ活動に入らない

地域クラブ活動(実証事業)の取り組みを紹介します

昨年の8月から、総和北中学校・三和中学校・三和北中学校・三和東中学校のサッカー部員が、古河市サッカー協会の指導者の下で地域クラブ活動を行っています。

練習は月2回、1回あたり2~3時間程。他校の生徒と交流を楽しみながら練習を重ねています。

